



「声」の欄・投稿規定

★「声」の欄は読者の皆さんのお考えを、直接誌面に反映させるためのページです。皮膚病の診療に関する日ごろのご意見、新しいアイデア、ご提言などをお気軽にお寄せください。とくに日夜第一線で診療に活躍しておられる先生方からのご投稿を切望します。

★「声」の欄には、また皮膚病に関する“質疑応答”を取り上げます。お寄せいただいたご質問は、その方面の権威に依頼して適切な回答を用意し、誌上で発表いたします。とくに回答者を指名されても結構です。

★字数は一般のご投稿は1,200字以内、質問は600字以内を原則とします。

★ご投稿は郵送のほか、FAX（番号：03-6838-9222）とE-mail（アドレス：hifubyoh-shinryoh@kk-kyowa.co.jp）にても受け付けております。

★原稿には住所・氏名を明記していただきます。

「頭頸部に痒疹様結節が多発した insect bite-like reaction」を読んで

この論文 (Vol.40 3月号掲載) のタイトルには、“様”が2回出てくる。これを英語にしたら、-likeという言葉の重複を避けるためにpruriginous noduleとするのだろうか。また、文中に述べられている痒疹様結節、痒疹様皮疹という言葉がどういうものを指すのか、イメージが沸きにくい。臨床写真からは痒疹丘疹、痒疹結節が多発してみられるが、なぜ痒疹様としたのだろうか。～様というのは臨床像を見て思い浮かべるもの (外観) を指すのが通常なので (逆に組織学的に使う場合は～様反応という)、病理組織が結節性痒疹でなかったからといって、痒疹様とするのも腑に落ちない。

本誌の読者は、臨床にこだわる先生方が多いと聞いている。声の欄に忌憚のない意見を歓迎すると読んだので、勝手な意見を投稿させていただきました。

ペンネーム：好きな言葉は手抜きです
(東京都)

【コメント】

われわれの論文に目を通していただき、ありがとうございます。

痒疹様と記載したのは、痒疹ではないからです。痒疹は湿疹と同じく病名であり、痒疹でない皮膚疾患で痒疹に類似した皮疹であるためこのような表現にしております。また、Insect bite-like reactionのlikeも同じ意味で用いられているものと思われれます。

本文でも触れておりますが、本疾患は痒疹様の結節のほか、紅斑、水疱やびらんなどさまざまな臨床像を呈することがあります。本症例の臨床写真で痒疹結節そのものにみえたのであれば、「頭頸部の痒疹はInsect bite-like reactionの場合もあり注意する必要がある」とのわれわれの発信が正しいことを示しており、うれしい限りです。

この度は貴重なご意見、誠にありがとうございました。

山崎まりな
(獨協医科大学埼玉医療センター)